

令和5年度 海西地区福祉活動計画評価表

スローガン	地域のネットワークで安全安心な海西
-------	-------------------

重点課題	弱者の危険からの回避 高齢者のコミュニティへの参加推進
------	--------------------------------

事業名	推進方法	評価
地域見守りネットワーク 推進事業	○子ども達の見守りを行う。 ・安心して児童、生徒が登下校できるよう、地域全体で見守り活動を行う。 ・各自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、地区社協役員を中心に、毎月1日に通学路に立つ。	○
	○高齢者の見守り活動を行う。 ・ひとり暮らし高齢者宅へふれあい訪問を実施する。(年2回) ・海西小学校の児童と学校関係者、自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員が各地に分かれ、ひとり暮らし高齢者宅へ訪問をする。児童が心をこめて育てた花や手紙を渡しコミュニケーションを図る。	○
	○高齢者を囲む会を開催する。 ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員などの協力で、ひとり暮らし高齢者(70歳以上)、高齢者世帯(75歳以上)、高齢者(80歳以上)を対象に、海西地区「高齢者を囲む会」を実施する。新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ、昨年度のように見守りのための訪問をする。	○

現状及び今後の方針
1、子どもたちの見守り活動 地区社協として毎月の第1登校日に行う。各地区で海西小学校の児童の登校時の見守り活動を行った。今後も継続して活動していきたい。地域の方に児童の下校時の見守りも行ってもらえた。今後もこの活動は続けていきたい。 2、高齢者の見守り活動 ひとり暮らし高齢者宅にふれあい訪問をした。海西小学校の児童とは一緒に訪問ができなかった。各地区の自治会長・民生委員児童委員・福祉推進委員でひとり暮らし高齢者宅・高齢者世帯を訪問し、感染症防止のマスク等を持参し、声かけを行った。 3、高齢者を囲む会の実施 自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員等の協力で、ひとり暮らし高齢者(70歳以上)、高齢者世帯(75歳以上)を対象に、「海西地区高齢者を囲む会」を海西公民館で行った。4年ぶりの開催で参加してくださった高齢者の皆さんは、わかば海西こども園児との交流もできて楽しく過ごしてもらえた。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和5年度 海西地区福祉活動計画評価表

スローガン	地域のネットワークで安全安心な海西
-------	-------------------

重点課題	地域の交流の希薄
------	----------

事業名	推進方法	評価
三世代交流の推進事業	○三世代交流事業を推進する。 ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員との連携や三世代交流事業の活発化を図るため、海西地区三世代交流グラウンドゴルフ大会を実施する。（年1回） 会 場：海西小学校グラウンド 対象者：海西地区在住の方（各地区1チーム以上）	○
	○にこにこ子育て支援事業を推進する。 ・子ども会と協力し、子どもから高齢者、障がい者まで、幅広く交流が図れる行事などを行う。レクリエーション大会などを計画。	
	○サロン活動を推進する。 自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、老人クラブと連携しながら、閉じこもりがちなひとり暮らし高齢者や障がい者のみなさんが、気軽に地域交流ができるようにサロン活動を推進する。また、サロンの立ち上げ活動の支援(サロン活動未地区へのアドバイス)などを行う。	○

現状及び今後の方針

1、三世代交流事業の推進

海西地区三世代交流グラウンドゴルフ大会、海西地区レクリエーション大会の二つの事業を合わせて三世代交流事業として行った。にこにこ子育て支援事業を活用して、子ども会、育成会と協力し子どもから高齢者まで参加して平田公園で「レクリエーション大会」を行った。

2、サロン活動の推進

広域サロンは、対象者の交通手段の確保が難しく、実施が見込めていない。

今年度、サロン活動が行われていない幡長自治会で、新しくサロン活動始めることができた。自治会長、福祉推進委員、民生委員児童委員、老人クラブの方の尽力により、活動ができた。

3、視察研修の実施

日程や研修先があわずに今年度は実施できなかった。次年度は、早めに動こうと思う。

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった

令和5年度 海西地区福祉活動計画評価表

スローガン		地域のネットワークで安全安心な海西
重点課題		各自治会の防災意識の欠如
事業名	推進方法	評価
防災意識(知識)向上及び 防災啓発の推進事業	○防災について研修会を行う。 ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員と協力して、消防署の職員や専門家を招いて防災に対する知識や技術などを学ぶ。 ・地域住民自身が、防災をより身近なものであると認識し、危機管理意識を高める。	○
	○防災対策 ・自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員、他団体と連携を図りながら、具体的な避難場所、防災備品等の検討や危険個所の確認をする。	○
現状及び今後の方針		
自治会役員、民生委員児童委員、福祉推進委員と協力して、防災の専門家を招いて避難所設営訓練を行った。地域住民の一人一人が防災がより身近なものと認識し、危機管理意識を高めていくため研修を行った。今後は防災講座等を充実したい。		

《評価》 ○計画どおりできた △計画の一部ができた ×計画どおりできなかった